

図書館だより 10月号

令和6年10月9日発行 川島中学校・高等学校図書館



読書週間(10月27日～11月9日)が始まります!

「読書週間」を知っていますか?

1947(昭和22)年、まだ戦争の傷あとが日本中のあちこちに残っているとき、「読書の力によって、平和な文化国家を創ろう」と、出版社・取次会社・書店と図書館、マスコミも一緒になり、第1回「読書週間」が開かれました。第1回読書週間は、11月17日から23日まででした。これは、11月16日から1週間にわたって開かれるアメリカの「チルドレンズ・ブック・ウィーク」にならったものです。各地で、講演会や本に関する展示会が開かれ、その反響は大きなものでした。1週間では惜しいとの声を受け、現在の10月27日から11月9日(文化の日をはさんで2週間)となったのは、第2回からです。

それから75年以上が過ぎ、「読書週間」は国民的行事として定着し、日本は世界有数の「本を読む国民」の国となりました。その一方、物質生活の豊かさに比べ精神生活の低迷が問題視されている昨今、論理的思考の基礎となる読書の重要性は、ますます高まっています。

「読書週間」が、みなさん一人ひとりの読書への関心と、読書習慣の確立の契機となることを願ってやみません。公益社団法人読書推進運動協議会 2024・第78回読書週間概要より抜粋

「読書週間」マークの由来は?

その昔、ギリシャ神話の世界で「ふくろう」は、学問・技芸・知恵を司る美貌の女神アテナの使者であり、また、代表的なポリスで文化の中心地アテナイ(アテネ)の聖鳥でもありました。古代のギリシャ人たちは、賢そうな丸い目ですまし顔の「ふくろう」を知恵の象徴として大切にしたいといひます。

森の奥深く、静かに瞑想にふける「ふくろう」の姿こそ、読書週間のシンボルマークとして最もふさわしいものと考え、長い間使用されてきました。

読書週間が始まる10月27日は、「文字・活字文化の日」です!



恒例! 読書週間 雑誌付録プレゼントの応募受付が始まります!

毎年、実施している読書週間のイベント『雑誌付録プレゼント』。10月22日から11月22日の間に、図書館で本を借りた人に、雑誌の付録などが当たる応募券をさしあげます。希望する景品の番号を書いて、図書館に置いてある応募箱に入れてください。応募期間終了後、図書委員さんによる厳正な抽選で当選者を決定!

去年当たった人も当たらなかった人も、応募しなかった人も、こそって参加してください!

今年はどんな景品があるでしょう!?景品リストは図書館にあるので見に来てね。

たとえば…月の子・はじまりの物語クリアファイル、NICIビッグサイズビニールトート、KIRSHクリアポーチ、勇氣爆発バーンプレイバーンポスター、ムーミンダイアリーなど♪お楽しみに!



← 読書週間のイラストを使用した本のしおりと、文庫・新書サイズのブックカバーをプレゼント! 貸出カウンターに置いてあるので自由に持って帰って使ってね♪「推しの一行」が書き込めます!



9月のHR別貸出冊数について

貸出冊数が多かったHRは、

1位 11HR 52冊

2位 12HR 46冊

3位 51HR 27冊

でした。

3クラスとも図書館での授業があり、実際に本を利用する機会が増えたためだと思われます。読書の秋に、何度でも図書館へ足を運んでくださいね。

